

# <受診者のみなさまへ>

\*検査を安全・正確に実施するために、下記の注意事項等を事前にご確認いただき、ご受診いただきますようお願いいたします。

## 1. 健診を受診される方の食事等の制限

### ①血液検査を受診される方

・受付時間の10時間前までに食事を済ませてください。それ以降は原則、水・お茶以外は摂取しないで下さい。

（体調に不安のある方は食事を摂っていただいてもかまいませんが、血液検査に影響する場合があります）  
 ことをご了承のうえ受診してください。

### ②腹部超音波検査を受診される方

・食事の注意は、下記「③胃部検査を受診される方」と同様ですが、水・お茶は摂取していただけます。

### ③胃部検査（X線・内視鏡）を受診される方

- ・胃に飲食物が残っていると検査に支障をきたしますので、必ず下記の制限を守り受診してください。
- ・どうしてもものが渴く場合は、ご自身の受付時間の3時間前までに水またはお茶100ml以内をお飲みください。
- ・薬を服用されている方は、事前に主治医とご相談ください。服用する場合は、ご自身の受付時間の3時間前までに水100ml以内でお飲みください。
- ・受付時間の1時間前より禁煙してください。

#### <午前胃部検査を受診される方>

- ・検査前日：飲食は午後9時（21時）までに済ませて下さい。
- ・検査当日：飲食（あめ・ガム等を含む）は検査終了まで一切しないで下さい。

#### <午後胃部検査を受診される方>

- ・検査前日：飲食は午後9時（21時）までに済ませて下さい。
- ・検査当日：朝食は午前7時までに食パン1枚（5、6枚切の耳を外し、何もつけない）、お茶またはコーヒー・紅茶（砂糖・ミルク等はいれない）のいずれか1杯で済ませて下さい。

3時間前までの水又はお茶（血圧のお薬がある方は水）は100mlまでOK!



※熱中症の起こりやすい時期は水分補給を優先してください(原則1週間以内であれば胃部検査のみ後日ご受診いただくこともできます)。

## 2. 胃部検査（X線）の注意事項

- ・発泡剤、バリウムを飲み、検査台の上で身体を回転させ、いろいろな方向から撮影を行います。検査後は多めの水（コップ2杯分位）で下剤を服用します。
- ・バリウムが長時間腸内に残ってしまうと、石膏のように固まり腸が破れることがあります。検査終了後は水分や食事をしっかりととり、1～2日中に白（クリーム）色の便が出たことを確認して下さい。（排便がない場合はご連絡ください。）
- ・胃部検査の度に要精密検査となる方は、バリウムでの検査はお勧めできませんので、直接医療機関で検査を受けて下さい。

### 《 検査が出来ない方 》

★以下に該当する方は、検査中及び検査後の安全性の観点より、胃カメラ等の検査を受診してください。

- ・検査当日の血圧が最高血圧180mmHg以上、又は最低血圧110mmHg以上の方
- ・頑固な便秘の方（不安な方は当日問診でご相談ください）
- ・腸閉塞の既往がある方
- ・発泡剤・バリウムで具合が悪くなった方
- ・バリウム検査で誤嚥したことがある方
- ・過去に消化管（胃・十二指腸）の手術を受けられた方
- ・バリウム過敏の方（ショック症状を起こす等の報告があります）
- ・体重135kg（検査機器の最大動作負荷量）以上の方

※検査当日の体調がすぐれない方や運動機能低下がある方、大腸に憩室のある方、授乳中の方等も検査をお断りすることがありますので、ご了承ください。



裏面の注意事項も必ずご確認ください。

### 3. X線検査を受診される方へ

(胸部X線、胸部CT、腹部CT、胃部X線、マンモグラフィー)

- ・妊娠中、妊娠の可能性のある方は受診できません。
  - ・ネックレス・磁気バン・湿布・ボタン・ブラジャー(ブラトップ、スポーツブラも含む)・止金・プラスチック・カイロ・プリント図柄のTシャツ等は、検査の障害になりますので外してください。
  - ・ガードル等身体を締付ける下着は、胃部が変形して写ることがありますので避けてください。
- ※胸部CTは、ペースメーカーを装着中の方は受診できません。

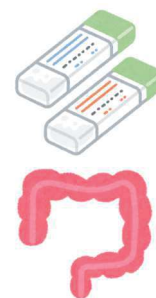


### 4. 胃内視鏡検査(経口)の注意事項

- ・消泡剤と咽頭麻酔を使用します。鎮痛剤や鎮静剤は使用しません。
- ・検査当日の血圧が最高血圧180mmHg以上、又は最低血圧110mmHg以上の方は受診できません。
- ・薬物等にアレルギーがある方や嘔下しにくい方、運動機能低下(検査台への移乗や姿勢保持ができない方)がある方、検査当日の体調が優れない方は検査をお断りすることがありますのでご了承ください。

### 5. 大腸がん検診を受診される方へ

- ・採便容器に同封されている説明書をよく読んでから採便してください。
- ・提出日の3~4日前から当日の朝までに、採便容器に2日分の便をとり持参してください。
- ・月経中、月経終了直後は正確な検査ができませんので、避けて採便してください。



### 6. 乳がん検診を受診される方へ

【マンモグラフィー・乳腺超音波共通】

- ・乳房豊胸術(脂肪注入も含む)・ペースメーカー装着・ポート留置・V-Pシャント術をされた方や、妊娠中、妊娠の可能性のある方、授乳中の方、断乳後でも乳汁分泌のある方は検査できません。
- ・乳房切除術をされた方は必ず主治医と相談の上受診してください。
- ・**自覚症状(乳房の腫脹・痛み・発赤・乳頭からの分泌液がある・腋の下にしこりがある等)のある方は、直接医療機関を受診してください。**他の検査を組み合わせる必要があります。

【マンモグラフィー検査】

- ・微細病変を発見するために、乳房を2枚の板で挟んで撮影します。
- ・月経前は乳腺が張り、痛みを生じることがあります。
- ・車いすの方は、お身体状況により撮影できない場合がありますので、受診日より前にご相談ください。
- ・最近身体の手術をされた方、骨折中・骨折が完治していない方、乳房周辺皮膚炎で出血がある、肩が水平にあがらない等ありましたら、撮影できない場合がありますので、受診日より前にご相談ください。
- ・検査当日は、制汗剤・クリーム・ローション・パウダー・オイル・スプレー等は使用しないでください。

### 7. 子宮頸がん検診を受診される方へ

- ・専用器具やブラシを用いて、子宮頸部の表面の細胞をこすりとり顕微鏡で調べます。
- ・月経中、月経終了直後は細胞に血液が混入し、正確な検査が出来ません。検査日を変更いたしますので、受診日より前にご相談ください。
- ・妊娠中、妊娠の可能性のある方は受診できません。
- ・子宮全摘術後の方は、子宮がん検診は必要ありません。子宮部分切除の方は、子宮がん検診の対象です。

### 8. 眼底・眼圧検査を受診される方へ

- ・眼底検査→眼鏡、ハードコンタクトレンズは外して検査します。コンタクトケースをご持参ください。
- ・眼圧検査→眼鏡、ハードおよびソフトコンタクトレンズは外して検査します。コンタクトケースをご持参ください。

### 9. 喀痰細胞診検査を受診される方へ

- ・「正しい痰のとり方」をよくお読みいただき、3日分の痰をおとり下さい。**提出日を含めて1週間前よりお取りいただけます。**採痰後は容器に採痰日をご記入ください。